社会福祉法人 睦会 広報

睦会だより

2022
7
No.39

にこにこ運動会

感染症予防のために規模を縮小しての開催となりましたが、天気にも恵まれ無事に開催されました。赤･青･白･黄の４チームに分かれ競い合い、グラウンドには競技に参加する選手たちへの声援が響きわたりました。見事優勝を勝ち取ったのは赤組。

参加した皆さんの元気に、梅雨の訪れを感じさせない１日となりました。

主な内容

◆多賀の里・結和・わさぴっとの統合計画について　・・・　2P
◆フォトグラフ　・・・・・・・・・・・・・・・　3P
◆令和 3 年度　事業報告　・・・・・・・　4P～5P
◆結和宅配弁当の紹介・ご奉仕くださった方々　・・・・・・・・・　6P

多賀の里・結和・わさぴっとの統合計画

睦会では、多賀の里の本体事業所（青笹町糠前9―7―6、多賀の里の従たる事業所「結和」（綾織町新里19―7―2）、及び遠野コロニーの従たる事業所「わさぴっと」（宮守町下宮守29―73―1）の3事業所を統合し、現在の結和の建物を利用した新事業所を立ち上げる計画を立てています。統合は、来年4月1日の予定です。

統合の理由としては、次の点が挙げられています。

① 3事業所のサービスメニューは就労継続支援B型ですが、利用する障がい者の人員が減少傾向にあること。

現状の利用人員は、多賀の里本体事業所が19人（定員25人）、結和が8人（定員10人）、わさぴっとが8人（定員10人）となっています。

② 右記①に関連し、サービスを受ける遠野市内の障がい者の動向として、就労継続支援B型メニューよりも生活介護メニューを選択する方が増大してきていること。

③ 3事業所の作業は、他の事業所からの受注による部品組立や加工という種別となっており、共通している部分が多く、作業分担や職員配置の面から統合した方が効率性が高いと見込まれること。

現在、統合について、利用者や保護者の意向をうかがいながら、遠野市や関係機関と協議をしているところですが、主旨については概ねご賛同をいただいております。

統合後の計画は、次のとおりです。

① サービスメニューは、現行を継続し、就労継続支援B型とします。

② 利用定員は、現状の利用人員に即した形で概ね35人とします。

③ 作業の種別は、現在の結和が行っている部品組立・加工部門、食事処・弁当配達等の提供部門とします。

④ 希望する利用者に対して、障がいの特性や作業の特性等に応じ施設外就労支援を行います。

※ 施設外就労支援とは、就労継続支援を行っている事業所が事業所外の企業等との作業に対する請負契約により、その企業等で利用者が作業を行うもので、事業所の職員も赴き支援する仕組みのものです。

利用者の人員は1ユニット3人以上で、職員の配置は原則的に利用者10人に対し1人となっています。

企業等の評価により、施設外就労支援を受けた利用者が一般就労に結び付いたというケースもあるようです。

⑤ 希望する利用者に対して、事業所までの通所に伴う送迎支援をします。

皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いします。

新評議員の委嘱

前評議員多田博子さんの退任に伴い、その残任期間として、阿部順一さんが新たに本会の評議員に委嘱されました。任期は、本年3月25日から令和7年6月開催の定時評議員会の終結の時までとなっています。

フォトグラフ

にこにこ運動会（6月23日 石上の園グラウンド）

昨年と同じく規模を縮小しておこないましたが、晴天に恵まれ、外で楽しく体を動かしリフレッシュすることができました。

紅白カーリング

玉入れ

ストレッチ体操

チーム対抗リレー

ジャンケン大会

フラフープ転がし

岩手県障がい者スポーツ大会（6月4日/県営運動公園他）

職員引率のもとコロニー・石上の園を合わせ16名の利用者さんが参加し、たくさんのメダルを獲得しました。

バイキング食（遠野コロニー・石上の園）

とてもおいしいご馳走でした。

石上の園（2月25日）

遠野コロニー（6月24日）

令和３年度　事 業 報 告

法人の基本理念・基本方針を基にして、法人の健全な運営や利用者支援のサービスの充実に努めてまいりました。

障がいを持つ方の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた居住支援のための多機能型施設が新たに開所され、地域移行の促進や地域生活支援の中核的役割を担うことができました。

コロナ禍に対する対応としては、マスク着用・手指消毒・うがい等の励行を徹底し感染症防止に努めながら、規模を縮小しての行事開催や少人数でのリフレッシュ外出などを行い、利用者に楽しんでいただくよう努めました。

【障害者支援施設　遠野コロニー】

はばたき等への利用者の施設移行による新規利用者の受け入れがあり、個々の特性等の情報を職員間で共有し速やかに施設における支援方法が確立されるよう努めました。また、従たる生活介護事業所「せせらぎ」が開所され、利用者の身体的介助が主な支援でしたが、創作活動などを通して楽しく過ごす時間が持てるよう努めました。

生産活動においては、依然として新型コロナウィルスの影響が続き、印刷・クリーニングともに経済活動の停滞による受注の減少が続いていましたが、そうした状況にあって製品加工等の軽作業を積極的に受託し、食品加工や乾物の袋詰作業なども取り入れ、作業量の確保に努めました。

クリスマス会

【障害者支援施設　石上の園】

はばたきが開所し、そちらに高齢の障がい者が移行したため、支援学校を卒業した若い重度の障がい者が入所したことで、これまでとは違った重度障がい者への支援のあり方を医療機関をはじめとした関係団体等の助言いただきながらサービス提供に努めました。

コロナ禍という状況の中で、規模を縮小しながら季節行事やリフレッシュ外出等を実施し、利用者のストレス軽減に努めました。

作業支援については、コロナ禍にあっても、利用者の生活の一助となっている工賃は従前通り確保し支給することができました。

季節行事【節分豆まき】

【障害福祉サービス事業所　多賀の里】

コロナ禍の状況でしたが、感染者が出ることなく利用者を受け入れることができました。定員を満たす状況に至りませんでしたが、年度の後半には２名の方が利用を開始し、支援学校からの実習についても３名の方を受け入れることができました。

生産活動について、製品加工事業は半導体不足の影響を受け受注量の減少が見られたましたが、配食事業についてはメニューの工夫などを行い誘客に努めた結果、純益は前年度を上回りました。また、結和開設 10 周年を迎えたため、記念イベントとして感謝セールを行い、利用客に喜んでいただきました。

【障害福祉サービス事業所　ほほえみ】

前年度にグループホームを退去した利用者が多く、利用者確保に努めた一年でありましたが、定員を満たす状況には至りませんでした。

利用者については、高齢化・重度化が見られ通院や行政手続き等の代行業務が増えてきています。また、世話人による健康チェックや身の回りの整理整頓の援助をする機会が増えてきています。そんな中にあっても、施設等の日中活動の場を提供し、生活リズムを整えながら生活の質を保てるような支援に心がけてきました。

【障害福祉サービス事業所　はばたき】

岩手県内初となる地域生活支援拠点事業の一環として日中サービス型の共同生活援助事業所を開所し、開所から 16 名の利用者を受け入れ満床の状態でスタートすることができました。主に重度・高齢の方が利用されていることから、個々の状態に合わせた身辺動作の援助及び介護が主要な支援となっております。毎日のバイタルチェックを行うことで健康状態を把握し、体調不良の方にはできるだけ早い通院などの医療的ケアを行いました。

日中支援については、平日に入浴支援を行っていますが、特殊浴槽を使用して重度・高齢の障がい者であっても衛生状態を維持できるよう努めました。また、毎月１回は、天候を見ながら散歩や外出を行うなどして利用者が楽しみながら生活できるよう工夫しながら支援してきました。

日中活動の様子

【相談支援事業所　らいと】

事業所の配置を多機能型施設の中に移し、事業所内及び遠野健康福祉の里内に相談支援専門員を配置し、計画相談支援と遠野市からの委託相談業務を行ってきました。

コロナ禍の影響による来所者数の減や障害支援区分等の適用期間の延長等から全体の相談件数やモニタリング・認定調査の件数が減少しましたが、相談内容の傾向として、発達障がいを含む精神障がいのある方や今まで障害福祉サービスを利用したことのない方の相談が増加しました。（延べ相談件数 1,804 件）

令和３年度　決 算 報 告

紙面に掲載していませんが、資金収支計算書の当期資金収支差額は 6,321 万円の黒字となり、前年度対比でも３億 6,847 万円増大しました。事業活動収支計算書においては、当期活動増減差額が 449 万円の黒字となり、前年度対比でも 5,511 万円増大しました。

【財産目録】

（単位：円）

資 産 の 部	1,235,238,354	負 債 の 部	259,398,154
流 動 資 産	152,879,636	流 動 負 債	51,584,889
現金預金	50,181,337	事業未払金・未払費用	26,256,453
事業未収金	94,679,336	賞与引当金	19,476,000
その他	8,018,963	その他	5,852,436
固 定 資 産	1,082,358,718	固 定 負 債	207,813,265
基本財産	935,476,985	設備資金借入金	156,900,000
その他の固定資産	146,881,733	退職給付引当金	50,913,265
差 引 純 資 産			975,840,200

【事業活動計算書】

○収益の部

サービス活動収益	652,809,653
就労支援事業収益	124,144,426
障害福祉サービス等事業収益	527,448,564
自立支援給付費収益	447,922,763
利用者負担金収益	55,251,927
補足給付費収益	9,607,422
その他の事業収益	14,666,452
経常経費寄付金収益	1,216,663
サービス活動外収益	5,924,952
特別収益	151,900,000
合　計	810,634,605

○費用の部

（単位：円）

サービス活動費用	650,778,042
人件費	356,502,650
事業費	90,547,467
事務費	51,730,609
就労支援事業費用	121,362,055
減価償却費	45,204,691
国庫補助金等特別積立金取崩額	△14,569,430
サービス活動外費用	3,461,586
特別費用	151,900,015
合　計	806,139,643

多賀の里結和
日替り弁当&丼物

メニュー例 **鶏の照り焼き弁当**

日替り弁当

火.木.金曜日

500円（税込）

メニュー例 **温玉のせ牛丼**

丼　物

月.水曜日

400円（税込）

日替り弁当は、主食・主菜・煮物・和え物・酢の物・卵焼き・漬物・果物等の約８品目のバランスの良いお弁当を皆様にお届けいたします！月毎のメニュー表をご用意いたしておりますので、お気軽にお問い合わせください。

なお、金額に応じたお弁当のご注文も承っております。注文弁当は 10 日前までにご連絡をお願いします。

※市内宅配いたします。遠方の配達につきましては対応しかねる場合がございますので、ご相談させていただきます。ご了承ください。

ご注文・お問い合わせ先　多賀の里　**結和**

TEL 0198-62-1560　　FAX 0198-62-1561

編集後記

新型コロナウィルスのワクチン接種も進んだことで、社会は行動や外出の自粛から、活発な経済活動の再開に向かっています。施設を利用されている方々も感染予防に努めながら施設行事に参加し、日常の買い物外出等を行っています。しかし、昨今のインフレ、資源、食料の供給に懸念が生じている世界情勢の中では、次々に不安が生じるニュースを目にして日々を過ごさなければなりません。私たち職員も務めて明るく前向きな会話をするようにしています。

宮沢賢治の作品に「曠原淑女」という詩があります。農作業に向かう岩手の少女二人が笑って曠原（広原）を歩いてくる様を、「あなたがたはウクライナの舞手のように見える」と歌っています。労働に勤しむ少女たちを賞賛し光り輝く存在と称えたのでしょう。そんな明るいイメージのウクライナに、戦争が終わって早く戻ってほしいものだなと思います。

ありがとうございました

ご奉仕くださった皆さま
（令和４年２月～令和４年６月）

○若林信雄　様
　チョコレート寄贈

○多田誠幸　様
　手指消毒液寄贈

○菊池恵美子　様
　野菜寄贈

○伊藤清子　様
　野菜寄贈

発行　社会福祉法人　睦会
〒028-0542　岩手県遠野市早瀬町3-16-40　電話　0198-66-3530
ホームページ　http://www.mutsumi-tono.or.jp/